

## 発刊にあたって

練馬区は、昭和22年8月1日に板橋区から分離独立し、誕生しました。現在では、大都市東京の都心近くにありながら、農地や樹林・公園など多彩なみどりに包まれた暮らしを楽しむことができる、豊かで美しい住宅都市となっています。人口は着実に増加し、71万人を超えて、まだ増え続けています。

その練馬区も、人口減少や「超」高齢社会の到来など、モデル無き未知の時代に直面しており、これまで経験したことのない状況への対応を迫られています。同時に、都市基盤整備の遅れなど、練馬区特有の課題にも引き続き取り組む必要があります。

このような複合的で大きな転換期にあたり、区政は新時代の自治体へと自ら改革していかなければなりません。あわせて、それを担う職員の意識を住民本位に変革していくことが不可欠です。

本年3月、今後の区政運営の羅針盤となる「みどりの風吹くまちビジョン」を策定しました。ビジョンは、各種のデータ分析に基づく実態把握と将来予測を行い、行政需要を見極め、施策の基本的な方向性を明らかにしたものです。区民の皆様とともに、このビジョンの実現に向けて、全力で取り組み、練馬区を更に発展させ、未来の世代へ引き継ぐ責務を果たしていきたいと決意しています。

この区勢概要は、平成26年度を中心に練馬区政の動向や取組について紹介しています。多くの皆様にご覧いただき、区政に一層のご理解をいただく一助として、ご活用いただければ幸いに存じます。

本書の編集に際し、区内の各官公署やその他の機関から資料を提供していただくなど、多くのご協力をいただきましたことに、心から御礼申し上げます。

平成27年9月



練馬区長 前川 耀男